

ほほえみ

田平ホーム広報誌



令和6年1月発行

社会福祉法人 慈愛会 特別養護老人ホーム 田平ホーム ☎0950-57-1966 FAX0950-57-2185 ホームページ <http://www.tabira-home.or.jp>



令和6年 新年挨拶

理事長挨拶

職員挨拶

秋・冬の行事紹介

ドライブ／健康際／クリスマス会／
餅つき の様子をご紹介します

P.7 昔のあそび／かるた
私の喜怒哀楽

P.8 作品紹介
職員の想い
行事予定
私のあの頃

P.9 読む！ヨム！定期だより

P.10 田平ホーム 旬情報
Welcome 田平ホーム
こんな研修受けました

特集

令和六年

辰 新年のごあいさつ

特集 1

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より、利用者様、ご家族の皆様、地域の皆様から温かいご支援とご協力を賜り、無事新春を迎えることができましたことを心より御礼申し上げます。

令和6年度の介護保険法改正、介護報酬改定に向け、厚労省より4つのポイントが提示されました。1. 地域包括ケアシステムの深化・推進 2. 自立支援・重度化防止に向けた質の高い介護サービスの推進 3. 良質な介護サービスの確保に向けた対応 4. 制度の安定性・持続可能性の確保 となっております。今後も複雑多様化するニーズへ対応しつつ、法令に即したサービス提供に努めていく所存です。

また、開設より45年を迎える田平ホームもようやく建て替えに向けて動き出しました。辰年の龍は古来より幸運や繁栄の象徴とされているそうです。天へと昇る龍のごとく、更なる発展と皆様の幸福な生活の実現に向けて一層の努力を重ねてまいります。

今後も皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 慈愛会
理事長 石本宗裕

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、当施設にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

皆様方のお力添えをもちまして、本年も無事に新春を迎えることが出来ました。

未だ介護施設においては新型コロナウイルスの影響の中、皆様方にはご面会の一部制限など、感染拡大防止にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、懸案でありました建替工事について、いよいよ工事が始まりました。令和7年3月完成を予定しています。新しい施設で生活できる事を楽しみにしています。工事期間中は皆様には、ご迷惑をお掛け致しますがよろしくお願ひします。

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症対策、介護報酬改定、物価高騰など介護・福祉分野を取り巻く情勢も変化する中、本年も職員一同利用者様のケアに邁進していきます。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

施設長 白石博昭

次長

石本 千夏

新年あけましておめでとうございます

今年は十干では甲、十二支では辰にあたるため、甲辰（きのえたつ）の年です。

甲は「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の一番目であることから物事の始まりととらえることができ、辰は発芽した植物がしっかりと成長するための勢いと大きな力を、成功ととらえることができるそうです。さらにこの二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する。いままで準備してきたことが形になる。など大変縁起がよいとされているそうで、まさに建替工事が始まり大きく動き出した田平ホームにふさわしい年となりそうです。

コロナ禍を脱して迎えた2024年、縁起の良さにあやかれば心持ちも上がると信じて、つねに学びの姿勢を忘れず新たな事柄へもひるまず挑戦していきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務長

山本 ゆかり

生活に大きな制限のかかっていたコロナ禍が緩み、数年ぶりに図書館に通うようになりました。大好きな歴史の小説や、一日で読める推理小説。友人に紹介してもらったエッセイも楽しみ、やはり読書が私の唯一の趣味なのかなと思っているところです。

さて、田平ホームも昨年より新しい変化を遂げるためのスタートを切りました。本年は目に見える形で建替えが進みます。

本年は改正する介護保険制度の理解、ユニット化への勉強などを進めていかなければなりません。『読書は学問の術なり、学問は事をなすの術なり』という福沢諭吉の言葉信じ、真摯に学び続けていきたいと思えます。

本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



生活相談員

七種 宏美

亡父は、パーキンソン病を50代半ばで患いましたが、周りの人に比べて進行が緩やかだとよく言われていました。この病気特有の動きづらさや手の振るえなどがあるなか、友人と船で釣りに行くのが趣味でした。家族は、周りに迷惑をかけるのではと心配していましたが、とめても聞いてくれたことはありませんでした。

病気の進行とともに、介護も必要となり行動範囲は狭くなっていきましたが自分なりにできる範囲の楽しみを見つけ、家族に怒られながらもやりたいように過ごしていた父。「やりたいことを好きなだけやる。」これが一番の薬だったのだろうと今は思います。

やりたいことをやるのは簡単そうでなかなかできないこともあります。やりたいことをやって人に迷惑をかけてしまうこともあるかも知れない、家族を巻き込むかもしれないといういろいろなブレーキもかかることも多いのですが、無趣味な私は「やりたいこと」を探そうと思えます。

これから、田平ホームもユニットケアへ向けていろいろと転換期となります。

今後、ご家族の皆様のご要望に少しでも答えることが出来るよう職員一同頑張りたいと思えます。

岩佐 初美

新年あけましておめでとございます。
近年寒暖差が激しく体調を維持するのが難しい日が続いています。
インフルエンザも流行しており益々体調管理が必要となっています。

毎月平戸市より平戸広報を送って頂き希望される利用者様にお配りしていますが関心が高く「おいにも」「私にも」と手が挙がり皆様に回し読みをして頂いています。地域でどの様な事があったのかを知る社会との接点となり毎月楽しみにされています。

ところで、昨年『母さん、ごめん』と言う本を読みました。50代独身男性の介護奮闘記で自宅介護をされていたのですがお母様の認知症状があり、とうとう手を出してしまい自宅介護に限界を感じ施設入所を決意、その後の施設入所生活を綴った内容で、立場が違えば見える景色も違い色々考える所がありました。

令和6年度はユニットケアに向けて取り組んで行く時期となります。

ご利用者様・ご家族様・施設と三位一体となって協働し支援を行っていきたいと思います。

“生活に対するご意向、ご要望”等がございましたら遠慮なくお知らせ下さい。

本年もどうぞよろしく願います。

森 智美

昨年10月19、20日と九州福祉施設職員研究発表会で『コロナ禍でも楽しく過ごせるために』と言うテーマで発表をしてきました。

Web研修とは異なる雰囲気、代表としてのプレッシャーなど様々な感情が入り交じり、とても緊張しましたが、コロナ禍に職員で協力しながら行ってきた食事提供について伝えることができました。

他施設の発表も大変刺激となり、私たちがこれから取り組まなければならない課題が見えてきたように思いました。

現在、当施設では建替工事が進められ、これまでの従来型からユニットケアへ移行されます。

食事の提供に関しても新たな取り組みを検討しつつ、これまで通り利用者様に喜ばれる工夫を続けていきたいと思えます。

本年もよろしく願います。



村田 紀美子

新年あけましておめでとございます。
昨年の6月1日よりこちらの施設において機能訓練指導員としてお世話になっております。それまで35年間医療の現場で奮闘し様々な経験を積ませていただきましたが、その現場を離れるきっかけとなったのがコロナ感染症でした。

当初は、まず一番に病院から面会が遮断され、病に立ち向かい必ず克服して社会復帰を目指されている方、また一方で必ず元気になって自宅へ帰るといふ目標に向かっていらっしゃる方々の生きる力が崩壊していく姿・希望を失い治療を受け入れることができなくなる姿を目の当たりにした時、看護師として手を差しのべ寄り添っていく力の限界を痛感させられました。

そんな中、ご縁がありこちらにお世話になる事となりました。医療の現場とは違って施設は初めての経験で、かなり不安と戸惑いがありました。が、入居者の方をはじめ職員の方々も温かく受け入れて下さり、感謝しております。

機能訓練指導員として、何ができるのかと考へ、個々のQOLを高める手助けができるようにそれぞれのニーズに合わせて計画を立案し取り組んでおります。入居者の皆様方が徐々にADLアップすることで自分に自信が付き、日増しに表情が明るくなられるように感じています。

今年も皆様に寄り添い明るく頑張る年にしたいと思っております。よろしく願います。

看護主任

長崎 あけみ

新年あけましておめでとうございます。

月日が経つのは早いもので私が田平ホームに勤務するようになって10年目になりました。

10年前と比べると毎日の生活の中でも自分の体力や脳の衰えを感じ「十年一昔」を実感しています。

来年からはよいよユニットケアが始まります。少しずつですが利用者様や介護者の負担を軽減できるよう新しい機器を取り入れ、研修などで知識を深め、次のステップへ職員全員で取り組んでおります。

利用者様が今より生活しやすい場を作れるようにスキルアップして頑張っていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



介護主任

加椎 喜代美

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

去年もあつという間の1年でしたが振り返ると、コロナ感染も5類になり制限が徐々に和らぎ、面会では時間制限がありますが、利用者様と家族も対面で触れ合う事が出来るようになった事が何より嬉しかったです。なかなか会えない時期もありましたが、今では手と手を触れあう事ができ、顔を見て声を掛け「誰でしょうか、わかる？元気にしてるね」と近距離で話せるという、普通なことが出来なかった、悔しかった時期を乗り越え同時にご家族様の協力もあり、ようやく今を迎えられる幸せを実感しております。これからも感染対策には敏感に対応していきます。

今年も辰年という事で、次男の小6が年男になります。次男が学童野球でプレーしている姿を観て応援するのが私のストレス発散の1つであり、親なら当たり前なのですが、どんなに朝が早くても、夜勤明けでも応援に行きたくてしょうがないのです。(笑)

少しずつ心も体も成長します。自分の事さえ出来れば良いのではなく、相手の事を気遣い思いやる子に育ってもらいたいと思います。今年も利用者様に寄り添い、常に笑顔で介護に努めさせていただきます。

新年挨拶ブログの紹介



田平ホーム ホームページにて職員全員の新年挨拶ブログを掲載しています！

今年のテーマは『新年の抱負』『わたし竜(流)コレって私だけ？』

ホームページの新年あいさつをクリックしていただくと、ブログをみることが出来ますので是非ご覧ください。

<https://blog.goo.ne.jp/tabira-sinnen>



秋・冬の 行事紹介

ドライブ

まだ温かい季節の10月にドライブに出かけました。秋の花のコスモスやマリーゴールドが綺麗に咲いており、利用者様も「わあ～綺麗かね」と喜ばれていました。



健康祭

11月10日、田平ホームの広場で健康祭が行われました。赤組と白組に分かれ、パン食い競争やフラフープくぐり、職員による応援団など、利用者様と職員が一丸となって優勝を目指しました。利用者様の活気に満ちた姿が印象的な1日でした。



クリスマス会

12月25日にクリスマス会が開かれました。キャンドルサービスや歌の合唱、そして利用者様1人1人にプレゼントが渡され、大変喜んでいただきました。最後にケーキと紅茶が振舞われました。



餅つき

12月28日は餅つきを行いました。お正月に飾る鏡餅や、かんころ餅、芋もちを作りました。利用者の皆さん、慣れた手つきで餅を丸めていて、あっという間に立派な鏡餅が完成しました。餅つきが終わった後は皆で美味しく芋もちを頂きました。



第8弾 昔のあそび

かるた

を紹介します



百人一首や歌かるた、いろはかるたなど一人が読み札をよみ、それに見合った札を取り合う遊びです。何度もかるたで遊んでいくうちに文字を覚えたり、ことわざを覚えたりできます。お正月にご家族で楽しまれた方も多いのでは？



▲思い出し笑いをしながら
中瀬美佐尾さん(93)



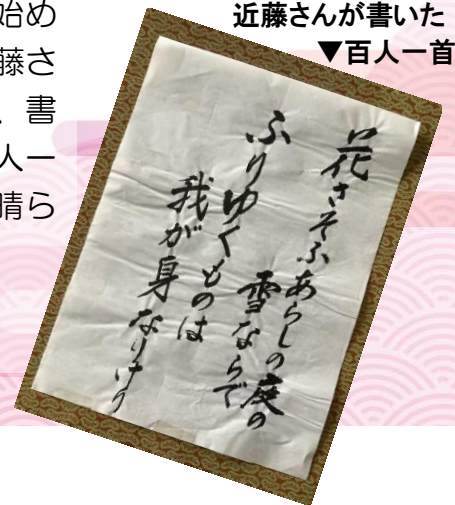
子供の頃にみんなとしたり、親になってからは子供たちとして遊んだこともありますよ。私が読んで子供たちがとって？ ふうふう。

「小さいころには、近くに住んでいた友達と一緒にかるたとりをして遊びましたよ。百人一首？それは、女学校の頃していたけれど、畑の仕事をしなくなってから、家にいる間の時間を使って覚え始めたのよ。」と笑顔で話す近藤さん。70歳を過ぎてから、書きながら、半数以上の百人一首を覚えたそうです。素晴らしい！書道もお見事な腕前です！



▲かるたは子供のころしたねえと近藤美恵子さん(99)

近藤さんが書いた
▼百人一首



私の喜怒哀楽

第54回目は、利用者 山内 里見様 編です。

利用者や職員の最近感じた『喜び・怒り・悲しみ・楽しみ』を紹介します。

海の仕事をするなら、25歳の時に海技免状を取ったことかな。そのおかげでお給料も上がったし、機関長になることもできたからね。

父親が厳しくてよく怒られたので、あんまり怒らないよ。自分の子供たちにも怒らずにきたねえ。「もっと叱って」と妻に言われることもあったよ。

ルニアを27歳で罹ってから、4回も手術をして、それが原因で今の病気にかかって、車いすでの生活になってしまったことがやっぱり一番辛いことかなあ。

毎月必ず、長男が面会に来てくれることかな。遠方からわざわざ会いに来てくれるからとても感謝しているよ。家族のありがたさを感じています。

職員の想い

№ 84



看護職

ひでみ
船原 淑見

『今 思うこと』

田平ホームに入職して1年が経ちました。これまで働いていた病院とは勝手が違い、戸惑うことも多くありましたが、先輩方に助けてもらいながら、日々の仕事にやりがいを感じています。

利用者に笑顔と安心を提供できるように日々心も体も成長していきたいと思っています。

クリスマス

タペストリー

利用者様の作品を紹介しています



田平ホームの桜の枝とフェルトを使ってつくりました。



小島ちづ子さん
(89歳)

上手にできて嬉しい♡

行事予定



お正月（おせち料理）
鬼火焚き
長寿祝い



節分行事



桃の節句ライブ
春のドライブ
つわむき

毎月行事

食事会
ふれあい
ランチ
クラブ活動

尾下 恵美子さん
(84歳)

色違いで
2枚つくりました



栗林 洋子さん
(83歳)

可愛くできて
いい感じでしょう？



私のあの頃

長崎県平戸市

松尾 英代 さん (91)



▲いつも笑顔。お茶会でパチリ！

嬉野の出身で、学生時代には毎日、朝晩と温泉に入っていました。とんでもなく羨ましいお話を笑顔でして下さった、松尾さん。若いころから、人のお世話をするのが好きで、看護婦さんになったそうです。

「嬉野には海がなかったから平戸にお嫁に来て楽しかった」とおっしゃっていました。



◀ 21歳の頃。看護の仕事をしていました

読む！
ヨム！

定期だよ！

各職種よりお知らせ、
お願い、その他

ゆったりとした時間

去年を振り返ると、秋には紅葉がものすごく綺麗でとても過ごしやすい日々が多く、外に出て焼き芋をしたり、干し柿を作製したりしました。そんな中、広場にて過ごされている利用者から「♪夕焼け小焼けで日が暮れて〜」「♪うさぎ追いかの山〜♪満洲の〜」等の色々な歌が聴こえてきます。1人が歌えば周りも歌い出し綺麗な歌声です。その時ばかりはゆったりとした時間が流れ、穏やかに過ごしています。



介護日和

利用者の歌声に癒されています。

by 介護職 加椎 喜代美

医務室通信

快眠ができれば
きれいなお肌
になれるかも！！

寒い冬はなかなか寝つくことが出来ず結果翌朝「眠たくて起きられない！」という事はありませんか？寝る1〜2時間前に38〜40度のぬるめの湯船にゆっくりつかるとお風呂から出た後で深部体温が徐々に下がりはじめます。その時に眠気が訪れ寝つきやすくなります。「眠れない」と神経質に考え
るよりもリラックスができることの方が大切です。



by 看護主任 長崎あけみ

厨房MEMO

いざ!!という
時の為。『備えあれば憂いなし』

12月12日に『災害時食事提供訓練』を実施しました。今回は電気、ガス、水道等のライフラインが停止し、厨房スタッフ不在という想定で備蓄食の取り出しから行いました。訓練では流水での手洗いが出来ないという想定で、食中毒防止の為利用者職員手指、テーブル、備蓄食、試用する器具すべてをアルコールでしっかり消毒をすることを心がけ、配膳には使い捨て手袋を使用しました。備蓄食の献立は「パック粥、チキンそぼろ、ふりかけ、みかん缶」で、パック粥は常温で提供し、チキンそぼろとみかん缶は大袋や缶を開け、使い捨て食器につき分けました。訓練後は温かい蒸しパンとカタラーナというデザートを提供しました。

by 管理栄養士 森 智美

機能訓練の栞

施設生活を明るく、楽しく過ごすお手伝いをします。

個々のニーズに少しでも答える事が出来る様に、上肢の筋力アップを図るプリー、下肢の筋力アップにつながる起立訓練、関節可動域訓練のROM、その他歩行器を使用した歩行訓練など週1〜2回程取り入れ、日々のリハビリを行っています。すずめていくうちに、利用者も意欲的になられ、表情も明るくなつた感じを受けます。今後それぞれのQOLを高めて施設での生活が明るく楽しく過ごして行けるようお手伝いが出来ればと考えています。

by 機能訓練指導員 村田 紀美子

日々のリハビリ



お知らせ 面会について

感染症におびえる冬の季節ですが、面会については「緩和」ということで、玄関でご家族2名迄10分程度。健康チェックをご記入いただくという形でお願いしています。ご協力お願い致します

ショートステイ やりがい！

今年度はじめたばかりのインスタグラムですが、遠方にお住いのご家族に、たびたび励ましのお言葉を頂きます。

見て頂いていることを実感すると、がぜんやる気も出てきます。

フォロワー数100を目標にしています。

ショートステイのベッドが新しくなりました

令和5年度長崎県地域医療介護総合確保基金事業補助金を得て、見守りセンサー内蔵型のベッドを10台導入しました。初めての利用の方は、行動把握の為にセンサーを使用させていただくことも多く、今後活躍が期待されます。特養と併設の為、必ずしも新しいベッドとはならない所もあります。慣れないお泊りでも気持ちよく過ごして頂けるよう、今後にも必要に応じて新しい設備など検討していきます。



ショートステイ

慣れないお泊りでも、新しいベッドで気持ちよく。

by 生活相談員 七種 宏美

旬

カイロ・こたつ・手袋・毛糸の帽子
思い浮かべると心も少し温かくなります。

ギョウとおにぎり

自作の梅干しと、施設長が育てた新米で11月の料理クラブはおにぎり作りをしました。エプロンと三角巾、手袋をして準備は万端。熱々炊きたてのご飯を右手左手と冷ましながら、握りました。



平戸海の活躍

地元出身の力士 平戸海の活躍を利用者、職員共に応援しています。新聞の小さな掲載にも喜びを分かち合い、成績を予想したりします。九州場所が勝ち越しを収めましたので、初場所も楽しみます。

年齢のはなし

特養田平ホームの令和5年12月の利用者平均年齢は男性81歳。女性78歳でした。最高齢者は105歳でした。

職員合同研修会

令和5年12月21日に行われた県北老人福祉施設職員合同研修会は平戸市内の大森歯科医院の院長先生に『口腔衛生管理について』の講演を頂き、高齢者の口腔衛生の大切さを学ぶことができました。コロナ禍以前は毎年行われていた研修会でしたが今年は数年ぶりに開催され、参加者は60名程でした。田平ホームが担当施設として、準備等を行いました。

食事会とふれあいランチ

バイキングやカフェ風、お好み焼き、面前揚げのてんぷら等季節感や楽しい企画を凝らす食事会。一方、「肉が食べたい」「甘いものを」と個人の希望に添いたいふれあいランチ。どちらも好評の食事です。12月には『麵バイキング』が行われ、ちゃんぽんが人気でした。



介護ロボット・用品

11月、長崎県地域医療介護総合確保基金事業補助金を得て、見守りセンサー内蔵型ベッドを10台整備しました。

また、9月には褥瘡予防対策の為、寝た状態での体圧測定器を導入。除圧を可視化できる優れたものです。更に、浴槽内での体位固定の為の浮かさないクッションや、ベッドと車椅子の移動時に負担を軽減できるスライディングボードも複数導入することにしています。介護用品は日々進化しており、介護する側も負担が軽減し、介護される側も安心感と心地良さを実感できるものが多くあります。

駐車場のご利用

田平ホーム第1駐車場、屋外広場の位置にユニット型施設整備を行います。工事も1月から本格的にスタート。それに伴い、第1駐車場の使用ができなくなりました。田平ホームにお越しの際は、第2駐車場をご利用いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

最優秀賞受賞

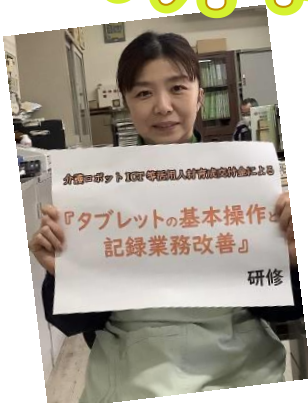
平戸市主催の緑のカーテンコンクールにて、今年是最優秀賞を頂くことが出来ました。8年連続入賞になります。



平戸市の企業見学バスツアー。およそ100名受け入れました。高校生には介護の説明と車椅子体験を、小中学生には、介護や食事、車いすの体験を中心に行いました。感染症対策で利用者の皆さんとふれあって頂けなかったのが残念です。

研修

File 04 受けました



ICT介護ロボット委員会 委員長 川淵 亜紀

毎日使っている介護記録のソフトウェアやタブレット。やっと慣れたと思っても、月日と共にどんどんバージョンアップしていきます。覚えて、より多くの機能を『使いこなす』ことが課題となっています。

外部講師を招いて開催
利便性を
実感出来ました

今月の素敵写真



広場の掲示板に利用者の皆さんの素敵な笑顔の写真を「今月の素敵写真」として掲示しています。その中よりご紹介します。



編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も「ほほえみ」をよろしく願います。

行事の様子をはじめ普段の生活の中にある利用者の皆様の笑顔をより多く届けることができるような紙面作りを努めていきたいと思えます。

コロナ禍で苦慮した数年を経て少しずつ日常を取り戻す中、過去の経験を学びとして生かし、新たな可能性を見出し成長できる一年にしたいと思えます。

表紙の 写真

門松飾り



田平ホームの玄関に門松が飾られました。新年を縁起良く迎える一年の幸福をもたらしてくれる神様にお願いしたいだけのように今年も施設長が張りきって制作しました。常緑樹である松、その力強い姿勢は不変の良運気を象徴し、竹はしなやかである事から災厄をしのぐ力を持つとされているそうです。本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

社会福祉法人 慈愛会

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
介護予防短期入所生活介護事業所

田平ホーム

〒859-4825 長崎県平戸市田平町山内免232番地
☎：0950-57-1966 FAX:0950-57-2185
ホームページ：http://www.tabira-home.or.jp